

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 25 年 11 月 19 日(火) 19 時 00 分～21 時 15 分
3. 理事総数：7 名
4. 出席理事：比嘉靖、安里克也、比嘉一仁、土田真也、山城峻、下里綱、久貝明人
※嘉数栄司(財務部員)、喜田浩司・安村勝也(訪問リハ委員)、仲根建作氏(沖縄県脊髄損傷者協会理事長)

【審議事項】

1) 事務局

1. 会員動向について 【承認】

【入会：2 名】【退会：1 名】

2) 下里理事(事業部)

1. OT フェアで着用したポロシャツの管理について 【承認】

⇒事務局で保管(洗濯は着用した各自で行う)。

3) 山城理事(財務部)

1. 学会の口座について 【承認】

⇒ここ数年、学会用の口座を学会財務部担当者名で開き、会計処理後閉じている。

今回も同様の方法で学会用の口座を開く(学会財務：山城理事)。

4) 比嘉会長

1. 法人移行手続き手順の確認・検討 【承認】

⇒10 月 17 日付の県からの答申で移行認可の内諾をいただいている状態(「公益法人 information」参照)。

正式な登記は平成 26 年 4 月 1 日付で行う予定のため、県医務課からの移行認可に関する書類は平成 26 年 3 月中旬に当士会へ発送される段取りとなっている。

移行認可の内諾を受けている事と、新法人が来年度(4 月 1 日)からスタートする事の広報を HP・FAX で行っていく。

2. 後期総会について 【承認】

⇒平成 26 年 3 月 15 日(土)19：00～ 沖縄県総合福祉センター開催予定で調整していく。

3. 県学会の在り方について 【審議継続】

⇒次回理事会にて、引き続き、組織体制等も含めて検討していく。

4. 沖縄県介護実習・普及センター運営委員および福祉用具専門部会部員の推薦について 【承認】

⇒沖縄県介護実習・普及センター運営委員会運営委員：金城知子氏(沖縄リハビリテーション福祉学院)

沖縄県介護実習・普及センター運営委員会福祉用具専門部会部員：新里碧氏(沖縄リハビリテーション福祉学院)

5) 比嘉副会長

1. 「生活行為向上」の県士会の活動報告・予定表等について 【審議継続】

⇒OT 協会からの「士会員のマニュアル購入数調査および生活行為向上マネジメント啓発フレーズの検討」についてのアンケート返信内容は、11 月 22 日に開催される九州士会長会議(比嘉会長出席)にて情報交換後検討。

【報告事項】

1) 事務局

局長：久貝明人

1. 会員の動向について

【異動：4 名】【改名：1 名】

2. 受理文書について

日本作業療法士協会(地域連絡費の振り込みについて、一般社団法人日本作業療法士協会「特別表彰」表彰候補者の推薦について、WFOT 大会のポスナーシップについて、『平成 25 年度会員名簿』等の士会事務局への配布について)、

他都道府県士会ニュース・会報誌・学術誌・研究冊子(山口、三重、山梨、石川、福岡、長野、群馬、京都、神奈川、島根、福井、宮城、北海道、大阪、広島、東京、神奈川、新潟)、他団体ニュース(沖縄県手をつなぐ育成会、沖縄県理学療法士協会、沖縄県精神保健福祉会連合会、沖縄県介護支援専門員協会、沖縄県薬剤師会、テクノエイド協会、沖縄県社会福祉協議会)、沖縄県社会福祉協議会(沖縄県介護実習・普及センター運営委員会委員及び福祉用具専門部会部員の推薦方について、福祉の職場説明会・面接会～福祉の就職フェア 2013～の開催について)、ぎょうせい沖縄事務所(新刊図書のご案内)、沖縄県精神保健福祉協会(第 44 回精神保健福祉普及月間における特別講演並びに公開座談会のご案内)、沖縄県医師会(出生前診断について考える県民との懇談会開催について、沖縄県医療推進協議会の開催につい

て)、医療法人タピック(高次脳機能障害講演会ご後援(名義使用)の御礼)、**沖縄県福祉ネットワーク協会**(臨床美術研修会)、**沖縄臨床美術の会アート人**(わらびんちゃーアート展)、**琉球銀行**(特例民法法人の移行に伴う銀行お届け名義等の変更手続のお願い)、**西日本国際福祉機器展実行委員会**(第15回西日本国際福祉機器展)、**沖縄青少年自立援助センター**ちゅらゆい(「子ども・若者支援を語る」講演会の後援方について)

3. 「認知症初期集中支援チームにおける早期対応につながる作業療法士の役割の明示とサービス構築に向けた研究事業」について

→協会では平成25年度老人保健健康増進等事業の国庫補助を受け「認知症初期集中支援チームにおける早期対応につながる作業療法士の役割の明示とサービス構築に向けた研究事業」を行っております。

この研究事業において「認知症初期集中支援チームに対応する作業療法士のための研修会」を今年度3回(岩手、東京、大阪)開催を予定しております。

- ・東京会場：平成26年2月2日(日) シダックスホール(東京都渋谷区)
- ・岩手会場：平成26年2月16日(日) アイ・いわて県民情報交流センター(岩手県盛岡市)
- ・大阪会場：平成26年3月9日(日) CIVI 新大阪東研修センター(大阪府大阪市)

⇒派遣者を人選していく。旅費等は渉外部から捻出。

4. WFOT大会のスポンサーシップについて(協力願い)

- ①一覧表の病院・施設にスポンサーシップ(ブース出展、寄付等)の依頼
- ②一覧表の養成校に寄付の依頼
- ③士会へのブース出展、寄付等の依頼

⇒11月22日に開催される九州士会長会議(比嘉会長出席)にて情報交換後検討。

5. 事務局事務員について

11月11日より産休。

2) 財務部

部長：山城峻

1. 会費について(10月1日～10月31日)

会費収入18件(県士会指定口座への直接納入：4件、コンビニ納入分：14件)

2. 会費納入率(10月末時点)

平成24年度：73.1% 平成25年度：74.1%

3. 会計打合せ：10月22日(火)

4. 来年度予算案：次回理事会までに提出をお願いします。

3) 学術部

部長：石川丈

1. FAX送信について：研究会より2件の研修会案内をFAX送信済み。

2. 学術誌について：第6号編集途中で、作業が滞っています。早急に完成できるようにします。

3. 九州士会長会主催研修会運営委員会について

11月23日(土)熊本県にて運営委員会に学術部石川が参加。詳細は来月の理事会で報告。

4) 教育部

部長：土田真也

1. 現職者選択研修(身体障害)：12月1日(日)9：00～16：20

会場：琉球リハビリテーション学院

講師：永山督氏(琉球リハビリテーション学院)、下里綱氏(大浜第一病院)

屋良樹一氏(沖縄協同病院)、矢野俊恵氏(南部病院)

現在受講者募集中。締め切り11月25日。

2. 日本作業療法士協会認定作業療法士取得研修 選択-12：12月7日(土)-8日(日)開催予定

定員20名。総申し込み者は32名。

但し、キャンセル等もあり最終的には28名(県内10名、県外18名)での開催となりそう。

会場：おもと天久の杜 大浜第一病院ふれあいホール

現在、急ぎで予算案作成、公文書手配等を協会事務局と調整中。

3. 事例検討会②：平成26年1月19日(日)開催予定。

現在、発表者募集中。締め切り12月4日。

4. マニュアル類の整理・公開

制度がかなり複雑になってきていることから、対応のマニュアルを整備していく。

県士会ホームページに掲載。会員と教育部員が同じマニュアルを参照しながら対応できる形にしていく。

現在、内容について教育部内で調整中。

ポイント移行、SIG申請など、直近1ヶ月で問い合わせを数件受けている。整備を急ぎたい。

5) 事業部 理事：下里綱

1. OT フェアについて

反省会・アンケートからの報告。詳細は HP 掲載予定。

6) 広報部 部長：久田直希

1. 県 OT 学会との関わりについて

県 OT 学会の運営会議に中村副部長が出席。情報を HP へアップしていく。

7) 福利厚生部 部長：桑江良貴

1. 30 周年記念式典について（進捗状況）

- ・予算案作成中（予算計画では 10 万円を設定していたが超過する見込み）
- ・ケータリングについて、情報収集中。近日中に業者から直接情報をもらう予定。
- ・受賞者について検討。表彰規程を基に 2 名（初代・第 3 代目会長：金城光政氏、第 2 代目会長：築瀬誠氏（鹿児島大教授））が候補に検討中。他にも候補と考えられる方がいればご報告頂きたい。

8) 渉外部 部長：安里克也

1. こころの芸術・文化フェスティバルについて

沖縄県立博物館・美術館にて明日から開催。明日の開会式に安里副会長が出席予定。

9) 保険部 理事：比嘉一仁

特になし

10) 比嘉会長

1. 日本精神リハビリテーション学会について

11 月 28 日(木)から 3 日間コンベンションセンターにて開催。

2. 九州士会長会会議の議題について

学会の収入は課税対象になるのか 等

11) その他

1. 法人移行準備委員

法人移行準備委員：石川丈・久貝明人

法人移行申請について、H26 年 4 月 1 日設立登記することで調整中。その為、医務課からの法人移行認可に関する書類は H26 年 3 月中旬に県士会へ発送されることになっています。準備委員及び事務局等で書類作成することになると思います。4 月 1 日に書類提出になりますので、誰が提出に行くのか調整が必要と思います。

※解散総会および設立総会が必要か再度県へ確認。

2. 2013 訪問リハ実務者研修会

訪問リハビリ委員：喜田浩司・安村勝也

- ・予算等について：OT・PT・ST から 5 万円ずつ計上。返納金は昨年と同様の割合（OT：差引残高の 25%、PT：差引残高の 25%、ST：差引残高の 50%）。使徒が明確になるような議事録を当士会財務部へ提出。
- ・領収書の宛名について：「訪問リハビリテーション実務者研修会」で統一の方向性。詳細な規定（領収書に押印が必須か等）を会計事務所にも確認しながら決定する。

3. 「IT で障がい者社会参加応援事業」への協力について

仲根建作氏（沖縄県脊髄損傷者協会理事長）より、事業の趣旨や協力依頼内容等の説明。

「IT サポートチーム」（詳細は Facebook 「障がい者 IT サポートおきなわ」参照）の派遣等、県士会として協力していく方針となる。今後、窓口となる会員の人選を行っていく。